自由記載欄に寄せられた主なご意見・ご提案の要約（抜粋）

○日常生活支援について

毎日の生活が普通にできるように、相談したり支援してもらえればありがたい。

冬はタクシーが混み、買い物ができないことが多い。トラックの移動スーパーがあるとありがたい。

買い物代行支援などがあれば冬場便利。

公的な入浴場所が欲しい。

○移動支援について

介護タクシーが少なすぎて利用しにくい。

通院のためのタクシーが、なかなか手配できない状況。野辺地町にも介護タクシーがあればいいと思う。

通院で各タクシーを使用するが、30分～1時間待ちで大変苦労している。

増進センターまでは無理だと思うが、せめて老人福祉センター前にバス停があればいいと思う。いつもタクシーを使用するのは負担。

○除雪支援について

除雪について、非課税世帯の金額より高くても良いので、働く障がい者も支援してほしい。

冬の雪かきがだんだんつらくなってきた。

冬の雪かきをお願いしたい。

○生活の場について

できれば一戸建て式の障がい者向け住宅のようなものが町内にあればいいと思う。

○情報提供について

介護・福祉課には率先して情報の提供をしてほしい。

障がい者や家族にとって暮らしやすい環境を整えていくためにも、サービスを利用できる情報発信をして頂けると助かる。

必要な手続きなど、自分で調べないと教えてもらえないものがあると思う。

個別に情報を提供してほしい。

介護保険のことはケアマネジャーがある程度教えてくれるが、障がい福祉については自分で調べないといけない。

町で障がいのある子どもの存在がわかったら、相談を受ける前に行政側からできうるアプローチをして手を差し伸べてほしい。

○相談支援体制について

子が小さい時は何もなく、介護・福祉課に相談もできなくてしんどかった。メンタル的にも追いつめられることがないような体制になってほしいと思う。

高齢であっても、入院もなくて急に歩行が不自由になった場合などの相談先にとまどっている。

適切な相談窓口が欲しい。

見た目は健常者の様に見える軽度障がい者に対しても時々声がけ等をしてほしい。

○経済的支援について

医ケア用品も医師の指示書等があったら、日常用具のように補助があれば良いと思う。

将来的に入所を考えているが、ケアの関係上、入院扱いとなるので金銭的にも不安がある。ケアのある、なしに関係なく安心して入所できるようにしてほしい。

無職や再就職活動をしている人々へも給付金や生活補助金支給があればと感じている。

給付金など手厚くしてほしい。

障がい者への免許取得できる補助などがあれば。

障がい者の施設は建てられてから30年以上になる所もある。毎日の暮らしの中で活発な生活が送れるよう、施設に補助金などを支給して助けてあげてほしい。

現在、物価上昇、電気・灯油等も高くなっているのに、生活保護のお金ではとても生活が苦しい。

障害年金を上げてほしい。

物価高騰により、経済的な負担が増々大きくなってきた。支援をお願いしたい。

○就労について

正社員の仕事が少なくて悩む。

障がい者雇用の企業を増やしてほしい。

○障がいに対する理解について

最近は障がい者に対する理解が深まったように思う。

障がい者の親が、障がいについて理解できる相談所のような場所が欲しい。

○役場職員の対応について

役場職員は担当になったのなら、内容を理解してほしい。

役場の職員も、良き相談にのってくれる方もいれば全く話にならない方も。

個々の特徴に向き合って、できるだけ想像力を働かせて対応していただけるとありがたい。

○障害福祉サービスについて

野辺地町にグループホームが欲しい。

私は視覚障がいのため、今後の生活に不安を感じている。もう少しきめ細やかなサービスを充実させてほしい。

ショートステイを利用したいと思っているが、町内にないので不便だと思う。

野辺地町は他市町村と比較して、福祉サービスを提供する施設が少ないと感じた。

○障害福祉サービス事業所について

現在、施設に入居中だが、職員の方々に大変良くしていただき感謝している。

事業所全体の問題として、賃金を増やしてほしい。

○アンケート調査について

アンケートの質問内容がわかりにくかった。専門用語がありすぎる。

問17について、「区分○がどんな人が対象か」といった別紙があれば答えやすかった。

母の代わりに記入したが、質問が難かしいと思った。